

## 緊急セミナー

# 海外ビジネスと新たな安全・危機管理 ～いま、何をしておくべきか

IDJ/IDCJ 共催

アルジェリア・イナメナスで起きた人質事件は、海外ビジネスを展開する日本企業や団体関係者らに衝撃を与えている。なお治安上の不安を抱えるアフガニスタン、パレスチナ、イラクなどで援助事業を実施する ODA 関係者もその例外ではない。安全・セキュリティにかかわるリスク管理をどう再構築していくか、少なくとも“いま、何をしておくべきか”。この分野で豊富な経験と知識を持つ講師を招き、いま再構築が求められる安全・危機管理のあり方を解説します。海外ビジネスにかかわるすべての関係者にとって必須の緊急セミナーです。奮ってご参加ください！

13:30～14:50	「新たな安全・危機管理のシステム構築をめぐって」 日本アイシス・コンサルティング(株) 代表取締役社長 益田哲夫 氏
14:50～15:00	質疑応答／フロアとの意見交換
15:00～15:10	コーヒープレイク
15:10～16:00	「海外における邦人拉致事件の経験に学ぶ危機管理」 (株)グローバルビジョン 代表 吉村郁也 氏
16:00～16:50	「リビア内戦時の危機対応 ～どう脱出したか」 (株)インスペックス 特別顧問 新居 哲 氏
16:50～17:00	質疑応答／フロアとの意見交換

講師略歴等につきましては、国際開発ジャーナル社 HP (<http://www.idj.co.jp>)、国際開発センターHP (<http://www.idcj.or.jp>) をご覧下さい。

**開催日** : 2013年3月28日(木) 13:30～17:00

**会場** : 都道府県会館 401 会議室 東京都千代田区平河町 2-6-3 TEL: 03-5212-9162 (管理部)

**定員** : 約 80 名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

**申込締切** : 2013年3月22日(金)

**申込方法** : 下記申込書にご記入の上、FAX もしくはメールでお申し込みください。

(株)国際開発ジャーナル社 FAX: 03-3221-5584 E-mail: seminar2013@idj.co.jp

**参加費** : 15,000 円 (税込・資料代含む) ※サポーター制度 (無料) の対象外となります。

**振込先** : 【口座名義】 (株)国際開発ジャーナル社

【振込口座】 三井住友銀行 丸ノ内支店 当座預金 220240

みずほ銀行 丸之内支店 普通預金 1230388

**問合せ先** : (株)国際開発ジャーナル社 担当: 和泉・中島 TEL: 03-3221-5583

## 申 込 書

## FAX:03-3221-5584

社名	E-mail		
住所 〒			
TEL	FAX		
参加者氏名	所属部署・役職名		
請求書 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	連絡担当者(部署・氏名)		

※上記にご記入いただきました情報は、本セミナーを受講していただくために必要な連絡等に使用すると同時に、参加者名簿(記録用・講師当日用)作成、および弊社からの各種情報提供に使わせていただきます。

## **[緊急セミナー] 講師プロフィール**

### **益田 哲夫(ますだ てつお)氏**

日本アイシス・コンサルティング（株） 代表取締役社長

1967年、東南アジア向け鉄鋼材・機械等の専門商社に入社。マレーシア駐在員時代、人種暴動に遭遇したほか、為替変動、石油危機等による不測の事態を体験。1977年、商社を退職し、法務省公安調査庁に入庁。以来、2005年3月退職までの約28年間、一貫して市民生活の安全確保に資するための情報収集、評価、分析等の業務を外国情報機関との渉外連絡を中心に担当。イスラエル・アラブ諸国の諸問題に従事したほか、湾岸戦争、在ペルー日本大使公邸占拠事件、長野冬季オリンピック大会、日韓共催FIFAワールドカップ、アテネ・オリンピック大会等のテロ対策に係わる。公安調査庁を定年退職後、安全・危機管理のコンサルティング業務を展開する日本アイシス・コンサルティング株式会社を設立し、内外のセキュリティ・コンサルティングを担う。2008年9月、英国の包括的セキュリティサービス会社であるグローバル・ストラテジーズ・グループ（GLOBAL社）と業務提携を結び、イラク、アフガニスタンなど中東・北アフリカ地域のハイリスク環境下におけるセキュリティサービスを日本政府、関係機関、民間企業等に提供している。

### **吉村 郁也(よしむら いくや)氏**

(株) グローカルビジョン 代表

1973年、熊本県警察官を拝命。1980年、警察庁欧州警察短期研修員として派遣され、以後、熊本県警での勤務のほか、警察庁、外務省および内閣官房内閣情報調査室等で通算16年間勤務し、2012年3月退職まで一貫して国内外での情報収集・分析、テロ対策等の危機管理関連業務に従事。イラン・イラク戦争末期、在イラク日本大使館二等書記官兼副領事として在勤し、邦人企業社員の誘拐事件救出オペレーションや在留邦人緊急脱出等の邦人保護業務に従事したほか、警察庁警備局および国際部において国際テロ対策・治安分野で国際協力など担当。2003年から06年までは内閣官房内閣情報調査室国際部に勤務し、主にイラク情勢分析や邦人誘拐事件、サマワ駐屯の自衛隊に対するテロ対策業務等に従事。2012年4月、安全・危機管理のコンサルティング業務を展開する株式会社グローバル・ビジョンを設立し、企業・団体等に対する国際情勢やリスクマネジメントに関するアドバイス活動等を開始。同月、熊本県政策参与（非常勤特別職）として知事の委嘱を受け、危機管理および国際戦略に関する助言等を担当している。

## 新居 哲(にい・さとし)氏

(株) インスペックス 特別顧問

神戸製鋼所でリビア・ミスラタ建設事務所長、海外プラント本部長代理、エンジニアリング事業部長代理、神戸製鋼の100%出資子会社である(株) インダストリアルサービス・インターナショナル社長などを歴任。海外業務ではカタール、ナイジェリア、リビア、モロッコ、イラン、オマーン、ベネズエラなどの大型製鉄関連プロジェクトを多数経験。2012年6月に設立された株式会社インスペックス特別顧問。

技術士(経営工学) / プロジェクト・リスク・マネージャー(米国リスクマネジメント協会日本RIMS支部)。現在、日本リビア友好協会常任顧問。